

プレスリリース

令和3年12月27日

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
会長 入山 功一

21年度クラシック・キャラバン終了のご報告

日本クラシック音楽事業協会が主催する「クラシック・キャラバン 2021 クラシック音楽は世界をつなぐ」が、滞りなく終了したことをご報告致します。21年9月の沖縄から12月の札幌公演までの全19公演、出演者、スタッフに一人のコロナウイルス陽性者を出さずに終わられたことを何より嬉しく思います。

今回のクラシック・キャラバンには、3つの目的がございました。演奏家や事業者には演奏機会や仕事を創出すること。クラシック音楽に親しみのないお客様にクラシック音楽の魅力を届けること。そして、適切な感染予防対策を施せば、コロナ禍においても平時と変わらぬ公演実施が可能であると社会に理解していただきたい、そう願ってのことでした。参加した演奏家たち、関わったスタッフは、全身全霊で取り組みました。お客様に少しでも楽しんでいただけたとすれば、望外の喜びです。私は、クラシック音楽界が一つの公演のために手を携えて取り組んだことを忘れません。この経験を礎に、クラシック音楽界が、次なるステップに進んでいくと信じております。のちに、コロナ禍の副産物と胸を張って振り返れるよう。

コロナ禍は一進一退を繰り返します。

しかし、クラシック音楽界は着実に進化しています。

この演奏会を聴きにきてくださったお客様、出演者、スタッフ、そしてご支援いただきました文化庁に心からの感謝を申し上げます。

